

安全データシート

作成日 2017 年 6 月 12 日
改訂日 2022 年 7 月 4 日

東洋グリーン株式会社

製品名：ニュートラライム DG ハイマグ

1. 製品及び会社情報

対象物の名称

製品名	ニュートラライム DG ハイマグ
英名	NutraLime DG Hi Mag Pelletized Limestone
メーカー製品コード	AGINT12786P
肥料登録名称	NutraLime DG Hi-Mag
肥料登録番号	輸第 104102 号
社内整理番号	202207A

提供者の情報

製造元

会社名	The Andersons, Inc.
住所	PO Box 119 Maumee, OH 43537 USA
電話番号	+1(0)-419-893-5050

輸入元

会社名	東洋グリーン株式会社
住所	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8
電話番号	03-3249-7731
担当	毒物劇物管理責任者

用途

本製品は、主に芝生地に用いられる肥料である。

2. 危険有害性の要約

ラベル要素 絵表示又はシンボル：

注意喚起語
危険有害性情報

警告

H320	眼刺激	区分 2B
H335	特定標的臓器毒性、単回暴露；呼吸器への刺激のおそれ	区分 3

注意書き

P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

P403 + P233 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P312 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

P405 施錠して保管すること。

P501 内容物/容器を法令に従って廃棄すること。

GHS による危険性・有害性の分類

危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	区分に該当しない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

有害性

急性毒性：経口	分類できない
急性毒性：経皮	分類できない
急性毒性：吸入（気体）	分類できない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉塵）	分類できない
急性毒性：吸入（ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分 3 軽度の皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2B 眼刺激
呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性（急性）	分類できない
水生環境急性有害性（長期）	分類できない
オゾン層への影響	分類できない
分類以外の有害性	なし

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分

一般名	混合物		
化学特性に関する情報	なし		
成分化合物	含有量	化学式	CAS No.
ペレット化した石灰岩	100%	-	混合物

4. 応急措置	
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し安静に努める。刺激が残る場合には医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	石鹼と水を用いて洗浄する。刺激が残る場合には医師の診断を受ける。薬液の付着した衣服は再使用の前に洗うこと。
眼に入った場合	清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。症状が続く場合、眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。医師の診断があるまで無理に吐かせようとしないこと。刺直ちに医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護	とくになし

5. 火災時の措置	
消火剤	粉末、泡、二酸化炭素、霧状水等。特殊な消火剤は必要なし。
使ってはならない消火剤	棒状水を用いてはならない。（周辺への飛散）
火災時の特定危険有害性	火災による分解生成物は有害のおそれがある。
特定の消火方法	漏出した物質や消火剤等が河川等に排出されないように配慮する。消火活動は風上から行う。
消火を行う者の保護	消火作業では適切な保護具（自給式呼吸具、手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	「8. ばく露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。作業は換気の良い場所で行う。
環境に対する注意事項	河川、湖沼、地下水等に流入しないようにする。物質が水系に入った場合は、管轄する消防署・水道局・河川管理事務所等に連絡する。
除去方法	他のものと混ざらぬように回収し、再利用するか法令に従い処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	「8. 暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。作業は換気の良い場所で行う。
安全取扱注意事項	吸い込んだり、眼や皮膚、衣服に触れないよう十分注意する。マスク、保護衣、保護靴、保護手袋、保護眼鏡等を着用する。作業後は手を洗うこと。作業場での飲食、喫煙を避ける。
適切な保管条件	袋を密閉した上、50℃未満の乾燥した冷涼で換気の良い場所に保管する。混合を避ける物質を遠ざける。施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置		
許容濃度・ばく露限界	許容濃度は設定されていない	
日本産業衛生学会		
含有成分の暴露限界		
石灰岩混合物ペレット	OSHA PEL* 15mg/m ³ （総量） 5mg/m ³ （呼吸）	ACGIH TLV* 10mg/m ³ （吸入） 3mg/m ³ （呼吸）

* OSHA PEL 国労働安全衛生庁許容暴露限度
 * ACGIH TLV 国産業衛生専門家会議限界値

保護具

呼吸器の保護具 必要であればマスク等呼吸保護具を着用のこと
 手の保護具 保護手袋
 眼の保護具 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 保護衣、保護靴等で皮膚との接触を避ける

適切な衛生対策

適正な換気が確保された場所で使用する

9. 物理的及び化学的性質**物理的状态**

物理状態	固体
色	灰色/淡褐色
臭い	僅かな臭い
融点・凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	適用されない
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	設定されていない
引火点	データなし
自然発火点	適用されない
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	適用されない
溶解度	部分的に水に可溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	適用されない
密度及び／又は相対密度	1.30-1.35g/cm ³
相対ガス密度	適用されない
粒子特性	データなし
その他データ	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	本製品は通常条件下で安定
避けるべき条件	高温
混触危険物質	強酸
危険有害分解生成物	毒性のある酸化物

11. 有害性情報

呼吸、眼、皮膚にごく軽微な刺激のおそれ		
急性毒性推定値 (ATE)	製剤 (経口)	データなし
	製剤 (粉じんおよびミスト)	データなし
	成分 (経口)	6450mg/kg ラット；酸カルシウム
	成分 (経皮)	データなし
	成分 (吸入)	データなし
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	眼刺激	区分 2B
呼吸器感作性または皮膚刺激性	データなし	
生殖細胞変異原性	データなし	
発がん性	発がん性のある成分を含まないが、微量の結晶質シリカを含む可能性	

生殖毒性		がある
特定標的臓器毒性	単回ばく露	データなし
特定標的臓器毒性	反復ばく露	気道への刺激のおそれ 区分 3
吸引性呼吸器有害性		データなし
		データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性/分解性	データなし
生態蓄積性：n-オクタノール/水分配係数	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

本製品の分解生成物は有害であるとは考えられていない。環境への影響、蓄積の可能性は分かっていない。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄の方法	「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を参照
残余廃棄物	廃棄において関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 他の物質と混合した際は、その物質の廃棄方法に従う。
汚染容器及び包装	適切な焼却炉で焼却処理するか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連正式品名	なし
国連分類	該当しない
国連番号	なし
容器等級	なし
海洋汚染物質	該当しない
国連危険物輸送規制（TDG）	該当しない
国内規制	該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	「漏出時の措置」の項を参照 「取扱いおよび保管上の注意」の項を参照 梱包毎に漏れのないことを確認し、転倒、落下、摩擦等で包装が破損しないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行い、有蓋車又はシート等を掛けて運搬する。容器の破損、漏れがないことを確かめる。水濡れを避ける。

1 5. 適用法令

肥料取締法	該当する 輸第104102号 炭酸カルシウム肥料
労働安全衛生法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	指定化学物質に該当しない
航空法規則	該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	該当しない
水質汚濁防止法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
輸出貿易管理令（キャッチオール規制）	該当する（第6部第31類肥料）

16. その他の情報

安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、化学製品を取り扱う事業者を提供されるものであり、安全を保障するものではありません。また、記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

本資料は米国 **The Andersons** 社の提供する 2021 年 7 月 22 日版 SDS を日本の法令に従って翻訳・翻案したものです。この安全データシートは、一般に入手可能な情報および自社情報に基づいて作成しておりますが、本製品に関するすべての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は本製品の一般的な取扱いについて記載したものです。本製品を取り扱う事業者は、個々の取扱いの実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されることをお願い致します。

以上